2025年６月26日

各　位

会 社 名　　株式会社ダイサン
代表者名　　代表取締役社長　藤田　武敏
（コード：4750 東証スタンダード市場）
問合せ先　　管理本部 財務経理部
部長　河野　良亮
（TEL. 06-6243-6341）

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年６月26日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析し、今後の取り組み方針を決議いたしましたのでお知らせいたします。

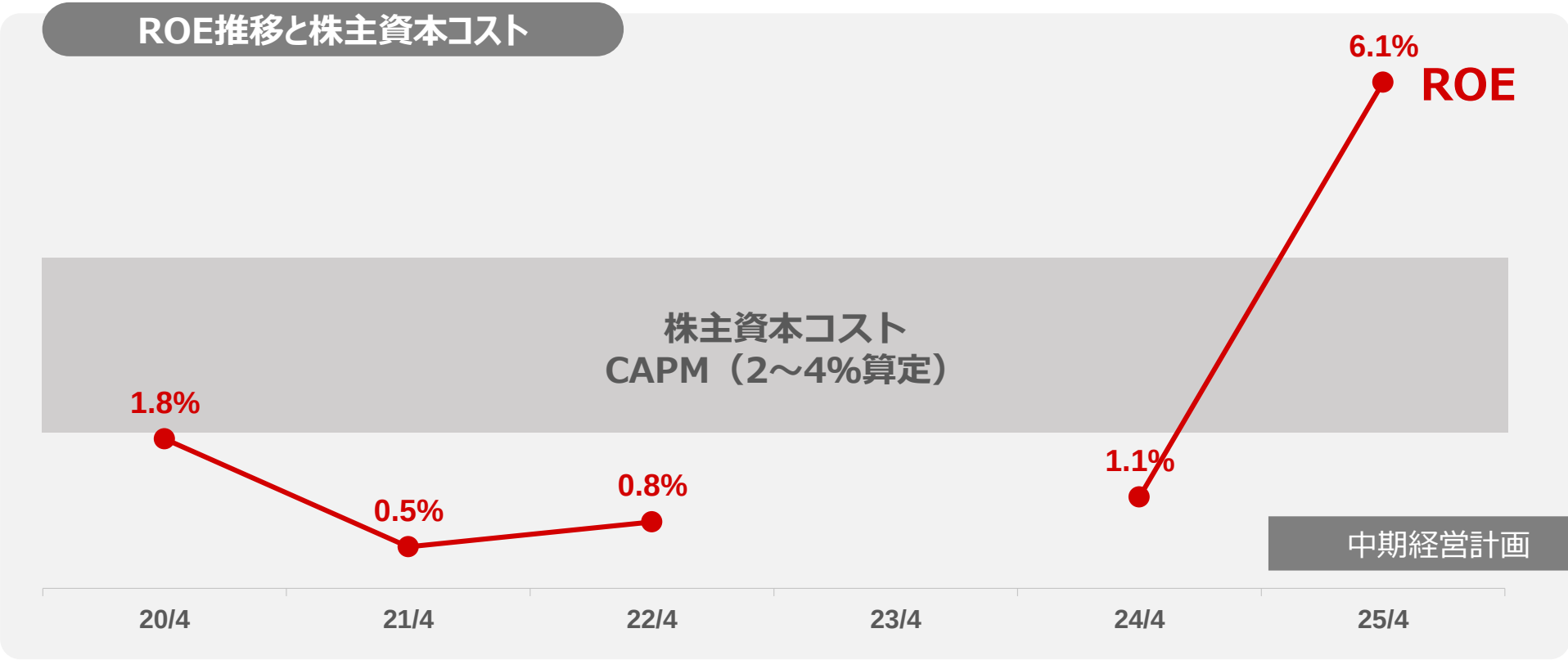
なお、詳細につきましては、添付資料の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以　上

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について

現状の評価

- 当社の株主資本コストは、約２～４％と認識しており、2024/4期までのROE水準は、株主資本コストを上回っていない状態で推移
- 2025/4期はROEが資本コストを上回り、今後も安定的に上回る水準を維持・上昇させることにより市場評価の向上を目指す

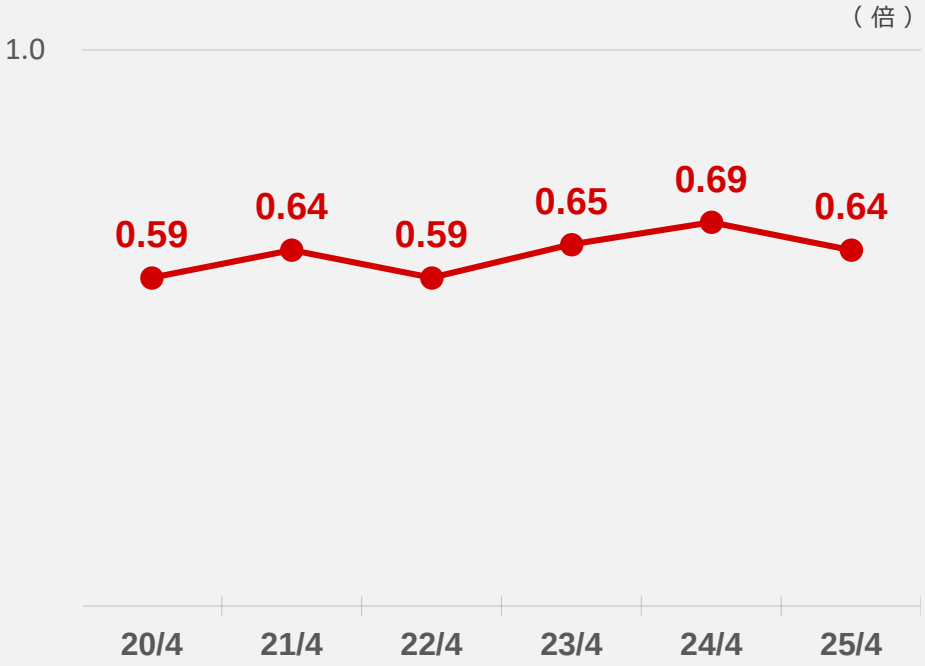


※１．客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを採用しております
　２．2023/4期におけるROEは、当期純損失のため算出しておりません

過去のPBR分析

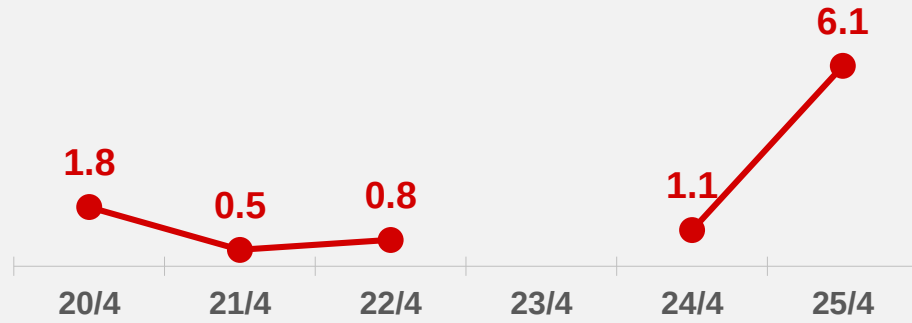
PBR

PBR 1 倍を下回る状況が継続
25/4期は収益性が改善したものの
数年は利益水準が低く推移したこともあり、
株価は割安で推移していると評価



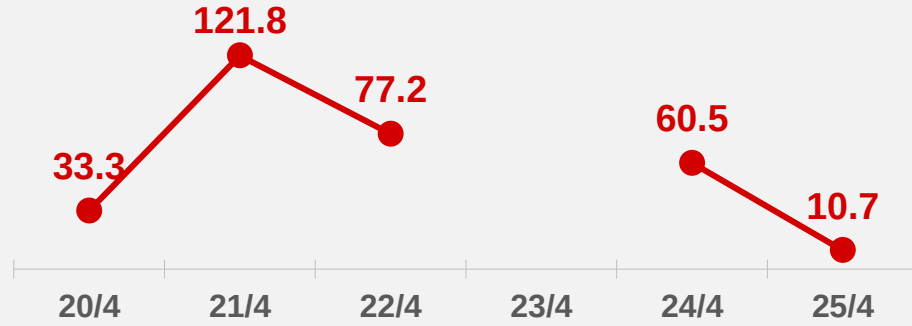
ROE

25/4期は業績伸長により改善するも目標には未達
資本市場から求められるROE水準を下回って推移



PER

25/4期に業績伸長した一方、株価が下がりPER低下

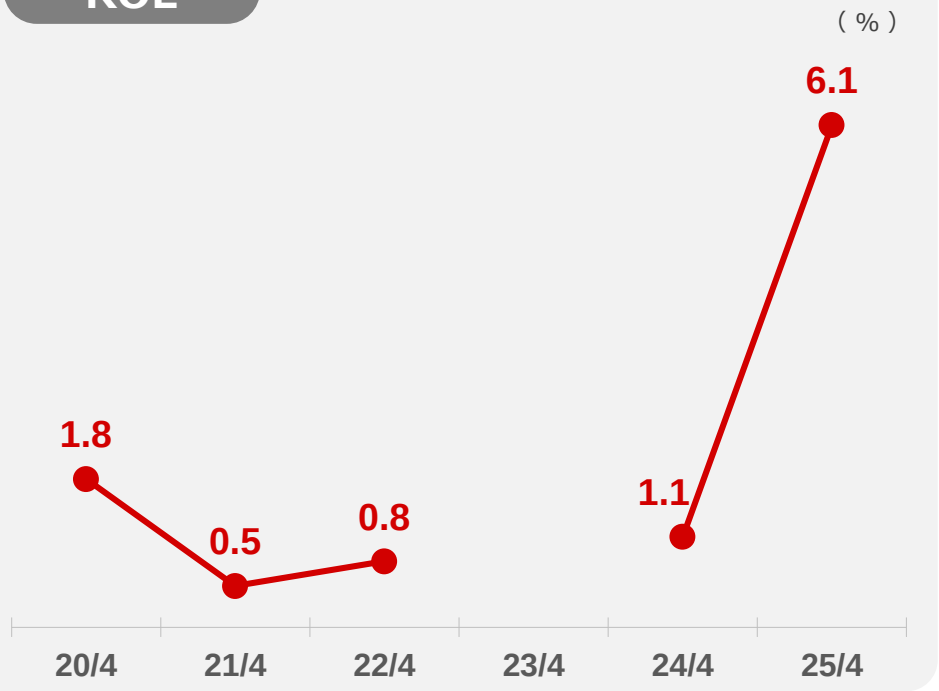


※2023/4期におけるROE・PERは、当期純損失のため算出しておりません

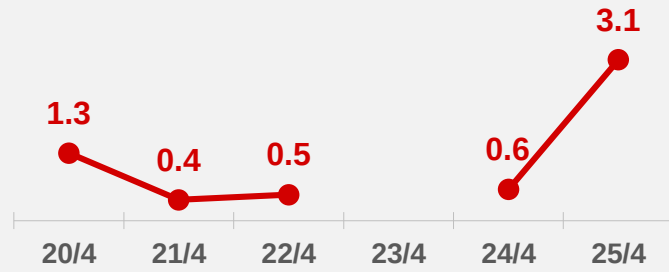
過去のROE分析

- 総資産回転率および財務レバレッジは安定的に推移しているものの、収益性が悪化していたことがROE低迷の要因と評価

ROE

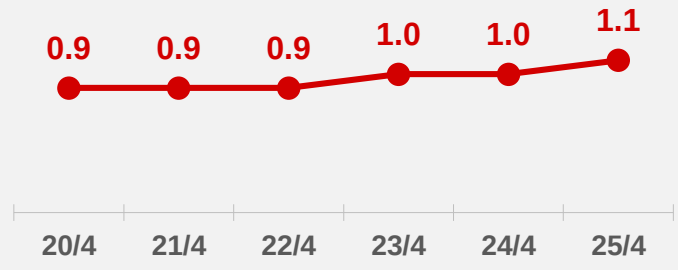


売上高当期純利益率



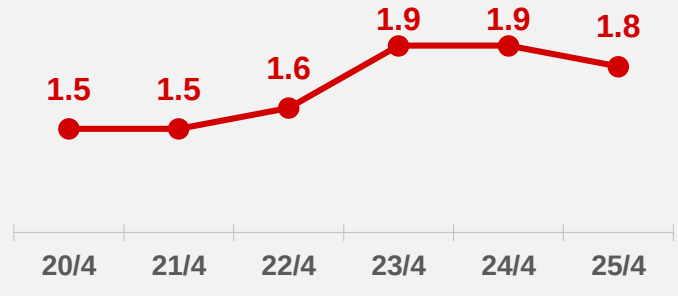
株主資本コストを上回るため利益率は25/4期以降もさらなる成長が必要

総資産回転率



回転率は概ね良好に推移

財務レバレッジ



借入増加にともない2.0に近い水準で推移

※2023/4期におけるROE・売上高当期純利益は、
当期純損失のため算出しておりません

企業価値向上に向けた方針

PBR向上

ROE向上
目標**8%**

×

PER向上
目標**15倍**

- 中期経営計画の着実な実行
- 収益改善に向けた適正価格受注とサービスの拡充
- コア事業領域における投資部材の稼働率改善
- シンガポールを中心とした海外事業の成長
- デジタル技術活用による業務生産性の向上
- 新たな収益事業（デジタル、人財育成）の創造
- 安定的かつ継続的な株主還元
- 適時適切な情報開示と発信
- 株主投資家等との積極的な対話の推進

※ 中期経営計画 29/4期の目標値